---第 25 期---

No.09
2024/02/29

八ヶ岳歩こう会　会報

■事務局からのお知らせ

◎今頃は七十二候でいう「雨水」です。暦通り毎日雨っぽい日が続きますね、昔の人の知恵はたいしたものです。この暖かな雨水で大地が目覚め啓蟄になるのだそうです。それにしても少し暖かすぎませんか。2 月 20 日には群馬県で気温 25 度の「真夏日」を記録したそうです。「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、これからは「暑さ寒さも彼岸から」となるかもしれません。しかし予報ではまた来週は真冬の寒さに逆戻りなのだとか。一足はやく出てきた虫も芽も、寒さに行き場を失ってしまいます。地球規模の気候変動によって自然界の生き物たちは大騒ぎしていることでしょう。当会では 3・4 月に花を巡るウォークを毎年実施していますが、年々開花時期の予測が困難になって、担当リーダーさん達も大変です。参加される方は、花の見頃にあたらなかったとしても大目に見てくださいね。おおらかに笑いながら歩くのが健康長寿の秘訣です。花より団子といいます。各自美味しいお茶菓子でも持参してご参加下さい。

◎新会員：本多やよい さん(甲州市)・田中富子さん(南アルプス市)

【2024 年 3 月の行事詳細】

■3 月 2 日(土)　我が町シリーズ、旧荊沢宿ウォーク

旧荊沢(ばらざわ) 宿は、富士川舟運で栄えた鰍沢宿場町と並んで栄えたと言われています。今も、昔の面影が色濃く残している街並みになります。
南アルプス市南東部に位置しています。西の方には、優しい山容の櫛形山は、麓の西郡

地方を優しく見守ってくれています。
旧荊沢宿は、江戸初期に駿河と甲州・信州を繋ぐ駿信往還の宿場として、脇街道に発達して西郡路における唯一の宿場として賑わいました。歩いてみると、静かな落ち着いた宿場町になります。
下見の途中、地元の長老が色々と昔の話を聞かせてくれました。西南湖と言う地名があります。地名の通リ、大昔は、湖だったと聞かされています。
西南湖地方は､標高はマイナスであったと思われます｡一尺程掘ると水が湧いてきます。
西郡地方は、昔より治水と水害との戦いだったと言われています。証に、避難用の小舟がお寺さんの境内においてありました。
地図を広げてみると、中小の河川が釜無川に合流しています。(滝沢川・横川・五明川・坪川・長沢川・八糸川・西川・利根川・その他)、今は、河川は素晴らしく整備されています。百年の一度、大洪水でも大丈夫と言われています。先人達の、大変な苦労に想いを馳せながらのウォーキングになります。
コースにおいては、全体的にはアップダウンが少ないコースになっています。尚、通常より歩行距離がながくなっています。水分補給と休憩時間をこまめに取っていくように注意していきます。

・コース：やまなみの湯(トイレ)→安藤家住宅(お雛様)→独鈷(どっこ)ノ井戸→深向院(トイレ・昼食) →西川家土蔵の戸前口→法泉寺(トイレ) →古長禅寺・ビャクシン(トイレ))→やまなみの湯(トイレ)
・距　離：約 13km
・集　合：やまなみの湯(駐車場)　10：30
住所　南アルプス市西南湖１２９９－１　TEL 055-280-3340
ふれあい公園・やまなみの湯、合わせての駐車場になります。広いです。スタッフの指示に従って駐車します。
塩崎駅～やまなみの湯、区間送迎します。申し込み先、田中哲夫(090-4927-5044)　2 月 26 日迄、締め切ります。
下り）塩山駅 8：36→塩崎駅(南口)9：22、(上り）小淵沢駅 8：48→塩崎駅(南口)9：28
乗車される方は、500 円、運転される方に直接渡して下さい。
・解　散：16 時頃
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／恵星富子／望月澄子

■3 月 6 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ）2 階第 9 会議室　10：00

■3 月 14 日(木)～15 日(金)　ぶらり中山道バスの旅　細久手宿～太田宿
・概要 1 泊 2 日で 24ｋｍを歩きます。一日目(12ｋｍ)のコースは山中ですがほぼ平坦。途中ダラダラと長い上り坂がありますが上り切れば昼食場所の展望台です。頑張り場所はそこだけですので乗り切ってください。ショートカットしたい方は、後半残り 3 キロくらいのところからタクシーを呼べる道に出ます。御嵩宿の「中山道みたけ館」がお奨めなのでタクシーで先に行ってのんびり見学していては如何でしょう。二日目(12ｋｍ) は

ほぼ県道歩きなのでタクシーはいつでも呼べますが、バスの乗り降りはランチ場所一か所だけです。ゴールの太田宿は見どころが多いので、脚に自信のない方はランチ後バスに乗って一足先に太田宿中山道会館に行ってゆっくり宿場見学するのをお薦めします。

・タクシー：可児(かに)タクシー　0574-67-0079　御嵩駅にあるので 10 分程で来るでしょう。

・宿泊ホテル：シティホテル美濃加茂(0574-27-1122)
シングルルーム朝食付き￥7.080（2/19 現在残室 1 部屋です)夕食は街でご自由に。
ホテルをご自分で予約された方以外は、宿代をバス内で徴収しますのでご用意ください
禁煙室が 13 室しかありませんでした。丁度申しこまれた女性が丁度 13 名なので全員禁煙室にします。男性は大変すみませんが喫煙室でお願いいたします。

・参加費：会員￥1.000　一般￥1.500
※だいぶ遠方になって下見費がかさんできました。申し訳ありませんが参加費を値上げさせていただきました。

・バス代：会員￥9.500　一般￥10.000

・締め切り：バスは大型ですが宿が残室 1 部屋ですので、後 1 名応募があった段階で締め切ります。なお、ご自分で宿泊を手配すれば後 10 名程度はバスに乗れます。

・キャンセル料：保険名簿の提出期限の関係もあり、正式な締め切り及びキャンセル料発生期限は実施日の 1 週間前とします。これ以降のキャンセルは、その時点でバス代が黒字になっていればキャンセル料はいただきません。赤字になっていればバス代の全額をいただきます。また、多人数のキャンセルが発生した場合は、申し訳ありませんが、参加者負担の原則で、参加者さんのバス代を値上げさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。なお、ホテルのキャンセル代は宿泊施設の規定によります。

・その他経費：保険￥500

・昼食情報：一日目はお弁当をご持参ください
二日目は「ラスパ御嵩」という大型スーパー内のフードコートで自由に食べていただきます。フードコートが苦手という方は、ラスパ御嵩内で弁当やパンのお買い物をしてご自由にお食べ下さい。食べるスペースはあります。

・バスコース往路：穴山駅(7：50)⇒日野春駅前コンビニ⇒小淵沢駅⇒瑞浪 IC⇒細久手宿大黒屋前(11：30)

・バスコース復路：太田宿(16：00)⇒小淵沢⇒穴山(20：00)

・担当：多賀純夫 090-8857-2864　風路和子 080-6715-3826

■3 月 21 日(木)　逸見路を歩く第 2 回　穂坂橋～車坂

逸見路の起源は定かではありませんが、かつては逸見筋と呼ばれていた地域にあった街道を逸見路と呼んでいたようです。その中には平沢口(佐久往還)、大門嶺口(棒道)、それに諏訪口(逸見路) が含まれていたようですが、江戸時代に五街道が整備され諏訪への中心的な街道が甲州街道となったころから諏訪口のみを逸見路と呼ぶようになったと考えられています。また甲州街道の脇往還として使われた原路もかつては諏訪口の一部であったと考えられます。そこで今回の「逸見路を歩く」は逸見路と原路を歩いてみます。
第一回目は塩川を渡る穂坂橋(当時は現穂坂橋より少し上流を渡ったと考えられています）までした。第 2 回目は逸見路が塩川を渡り現国道 141 号線と交わる相垈交差点か

ら逸見路歩きをスタートします。(実際は韮崎駅スタートです) 逸見路としてのゴールは車坂と呼ばれていた七里岩に上る坂を上ったところですが、その後中央線廃軌道跡を使って穴山駅に向かいます。

・コース:韮崎駅(トイレ)→韮崎市民会館跡→相垈交差点→道の駅にらさき(昼食、トイレ)
　　→馬場神社→車坂→穴山氏館跡→穴山駅
・距　離:約 10km
・集　合:韮崎駅　9 時 30 分
　上り　小淵沢駅　8 時 48 分発　韮崎駅　9 時 24 分着
　下り　甲府駅　　9 時 13 分発　　韮崎駅　9 時 27 分着
・解　散:15 時ころ
・参加費:会員 300 円　一般 500 円
・持ち物:弁当、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリー(会員のみ)、保険証、その他
・担当者:大嶋俊壽(080-2044-4766)　風路和子

■~~3 月 27 日(水)　飯田蛇笏・竜太の里　境川を歩く~~　延期します。

■3 月 29 日(金)　武川の桜と縄文遺跡発掘現場を楽しむウォーク

天気予報では今年は暖冬のため桜の開花が例年より随分早くなると賑やかな話が聞こえています
こんな年に満開の時期を予測するのは非常に難しいことですが、三種類の桜の咲き具合の違いを見ることが出来るのも楽しみの一つです。
この時期恒例の武川のお花見ウォークですが、今年は高龍寺住職のご好意で高龍寺境内に駐車して色々な種類の桜を眺める周遊コースを歩きます。
コースは真原桜並木から牧場チロルへ登る坂道を除けばほぼ平坦な道ですのでお花見気分を味わいながらのんびり歩きましょう。
お天気が良ければ白い雪をかぶった南アルプスの甲斐駒、鳳凰三山や八ヶ岳を背景に咲き誇るエドヒガンやソメイヨシノを見ることが出来ます。

今年は例年のお花見コースに加えて広域農道桜並木と「ぬたば縄文遺跡」の発掘現場を見学します。

「ぬたば縄文遺跡」では多くの土器の破片に混じってほぼ完全な姿の土偶が発見され「縄文の妊婦像」と話題になっていますが、北杜市教育委員会学術課の発掘責任者の方からお話を伺う予定です。

・コース：高龍寺駐車場(トイレ)→高龍寺参道→神代桜(トイレ)→山高一本桜→真原桜並木(トイレ)→牧場チロル(昼食)→桜並木駐車場(トイレ)→「ぬたば縄文遺跡」発掘現場→広域農道桜並木→高龍寺駐車場

・距　離：約 10km

・集　合：高龍寺駐車場　9 時 30 分

・場　所：グーグルマップマップに北杜市高龍寺と入力すればルートが表示されます
判らない人は甲斐駒センターせせらぎ駐車場に 9：15 に集合してください、小林が案内します

・解　散：16 時頃

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他

・担当者：重田友五郎(090-3687-9343)／小林光修（090-4676-2067）

【2024 年 4 月の行事詳細】

■4 月 2 日(火)　我が町シリーズ、伝嗣院の桜ウォーク

伝嗣院(でんしいん)は、甲府盆地を一望できる広陵上に立地しています。南アルプス市上宮地になります。優しい姿をした櫛形山東麓の市之瀬台地の末端に位置します。

櫛形総合公園が隣接しています。辺り一面は、果樹園と田んぼが広がっています。伝嗣院は、伝えによりますと創建は古く室町時代と言われています。境内は、人の訪れは少なく静まりかえっています。参道の脇には、苔むした石仏が並んで佇んでいます。老木のソメイヨシノの桜は、私達を迎えてくれています。

伝嗣院の旧寺領内には、大日如来座像さん通称(おでいにっちゃん)は、霊峰富士に向いて座っています。なんとも優しいお顔で和んでいきます。ウォークの疲れがとんでいきます。コースにおいては、多少のアップダウンになります。通常よりスローダウンした歩行で行きます。休憩時間と水分補給には多くとるように注意していきます。

・コース：生涯学習センター（トイレ）→櫛形総合公園・流鏑馬専用馬場（トイレ）→伝嗣院・大日如来座像（昼食・トイレ）→宝珠寺のマツ→小笠原長清公館跡→市役所（トイレ）→小笠原橋→生涯学習センター（トイレ）
・距　離：約１１ｋｍ
・集　合：櫛形生涯学習センター（駐車場あり、駐車できます）　10：30
　南アルプス市小笠原１０６０－１　TEL 055-282-7286
※JR 塩崎駅～生涯学習センター、送迎します。
（下り）塩山駅 8.36→塩崎駅（南口）9.22、（上り）小淵沢駅 8.48→塩崎駅（南口）9.28
　申込先は、田中哲夫（090-4927-5044）、締切 3 月 27 日迄、500 円、運転され方に直接渡して下さい。
・解　散：櫛形生涯学習センター　15：30
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー（会員のみ）・保険証・その他
・担当者：田中哲夫（090-4927-5044）／恵星富子／望月澄子／池田敏子

■4 月 3 日（水）　月例会　韮崎市民交流センター（ニコリ）2 階第 9 会議室　10：00

■4 月 5 日（金）　新府桃の郷と南アルプスの展望
・概　要：2016 年 4 月 18 日に田中文子さんが担当してくれたコースをほぼ再現して歩きます。記録を見るとその日の桃の花は、前日の風雨に耐えてまだまだ咲き残っており、見ごたえは充分あったようです。近年桃の開花が早まっており直近 3 年間を調べてみました。今年開催予定の 4 月 5 日は、2023 年度と 2021 年度はほぼ満開（写真をご覧ください）。2022 年度はまだ開花したばかり、という状況でした。今年度がどうなるかは分かりませんが、満開を信じて春の散歩を楽しみましょう。

2021 年 4 月 6 日撮影

2023 年 4 月 5 日撮影

・コース：穴山駅～御名方神社～堂坂の砦～桃の郷～新府城址（昼食）～南アルプスの展望～穴山駅
・距　離：10ｋｍ（ショートカットあり）
　新府城址で昼食後、後半をカットしてＪＲ新府駅へ向かえば約 6ｋｍのコースとなります。
・集　合：穴山駅前駐車場　9：30
　ＪＲの方は 9：12 分（上り）、9：16 分（下り）着の電車があります。

・解　散：穴山駅前駐車場　14：30
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当　飲み物　雨具　ダイアリー
・担当者：多賀純夫 090-8857-2864　風路和子 080-6715-3826

■4 月 15 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク番外編　東秩父落合橋～札所 1 番四萬部寺
足掛け 4 年の歳月を要した江戸巡礼古道ウォークですが、皆さんの協力のおかげで全 8 回を無事に終了することができました、感謝いたします。
最終回のウォークがちょっと物足りなかったせいかこのままで終わるのはさみしいなど、アンコールの声も聞かれます。
江戸から秩父に入る道は東秩父を経由するものが一般的で、東秩父村の皆谷の地蔵堂で初めて巡礼道の道標が登場します。そこでこの東秩父を江戸巡礼古道の出発点と考え、札所 1 番四萬部寺までの道約 10Km を番外編として歩くことにしました。ハイキングコースにもなっている標高 550m の粥仁田峠(粥新田峠)越え、武甲山や秩父市街地が見渡せる展望地、古道を偲ばせる数々の道標、馬頭尊などの石造物が楽しめます。
今回もバスウォークで事前申し込みが必要です。
・コース：落合橋→皆谷の地蔵堂→粥仁田峠→展望地→四萬部寺
・距　離：約 10Km
・集　合：平田家住宅前駐車場 7：00　甲府駅北口 7：50
　　道の駅はなかげの郷まきおか 8：30
・解　散：道の駅はなかげの郷まきおか 18：20 頃　甲府駅北口 19：00 頃
　　平田家住宅前 20：00 頃
・参加費：会員 500 円　一般 1,000 円　バス代：会員 6,500 円　一般 7,000 円（バス代は参加者数等により増減の可能性があります)
・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリー(会員のみ)、保険証等
・担当者：大嶋俊壽
・申込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んで下さい。
多賀純夫（電話 090-8857-2864 FAX:0551-32-68779
メール：ywa-member@ml.ywa.jp(メールは登録した会員のみ利用可)

■4 月 24 日(水)　鏝絵巡りシリーズ第 13 回

【2024 年 5 月の行事詳細】

■5 月 8 日(水)　月例会　　韮崎市民交流センター(ニコリ）2 階第 9 会議室　10：00

■5 月 9 日(木)　我が町シリーズ・中野の棚田ウォーク
中野の棚田は、南アルプス市の南西部・櫛形山東斜面に位置して、東向きの傾斜地に広がっています。里山から広がる棚田の景観は、霊峰富士に甲府盆地の眺望と相まって、まさに素晴らしい絵になります。下見の時に、たまたま棚田で農作業している人に出会

い、色々と話を聞くことができました。中野の棚田は、江戸時代より積み重ねながら山間部の傾斜地を開墾して、コメ作りの棚田を守ってきたのことです。先人達の苦労は、言葉では言い表せないほど大変であったと先輩たちより言い継がれてきているとのことです。今も、難しい問題を抱えながら美しい棚田を維持しているとのことです。特に、一番な問題は棚田に携わる人達の高齢化が進んでいて、後継者が少ないとの事でした。昔の懐かしい棚田の風景が、少しずつ失われてきているのが寂しいと言っていました。そんな状況の中でも、棚田の保全活動の取り込む(ふるさとを錦で飾る隊)の中野は、第５回美しい県土づくり大賞(平成２８年度)奨励賞を受賞しています。なかなか頑張っています。

中野の棚田は、四季の中で一番美しい風景を見られるは田植えの時季だと思います。田んぼに満々と水が張って水田が鏡のように、朝焼けで棚田がオレンジ色に染まり・逆さ富士も映えて見ることができます。期待ができると思います。

コースにおいては、多少のアップダウンになります。休憩時間と水分補給を通常より多めに取っていきます。列の間隔を開けないように、後ろをよく見ながら注意していきます。

・コース：ほたるみ館(トイレ)→中野の棚田・中野の柿→妙行寺→湯沢公園(昼食・トイレ)
　　→縣腰山(けんぎょうざん)→広誓院のカヤの木→椿城→ほたるみ館(トイレ)
・距　離：約 11ｋｍ
・集　合：アヤメの里活性化施設・ほたるみ館（駐車できます）10：30
南アルプス市平岡１２１０－１　〒400-0313　TEL055-284-7180
※JR 塩崎駅（南口）～ほたるみ館　送迎します。
(下り)塩山駅 8：36→塩崎駅(南口)9：22　(上り)小淵沢駅 8：48→塩崎駅(南口)9：28
申込み先は、田中(090-4927-5044)　5 月 4 日、締切ります。500 円、運転する方に直接渡して下さい。
・解　散：ほたるみ館　15 時頃
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー（会員のみ）・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／恵星富子／望月澄子／池田敏子

■5 月 27 日(月)　すずらんの里とツインテラスウォーク
スズランの里は、御坂山系の黒岳・釈迦ヶ岳・破風山の峰々に囲まれた、芦川流域に広がる群生地になります。群生地には、貴重な（にほんスズラン）種が、2.6 ヘクタールの

広い地に、約 200 万が自生しています。これだけ群生しているのは、全国的には珍しいと言われています。白樺林の中で、整備された遊歩道を散策しながらスズランの花を観賞していきます。県の自然記念物に指定されています。別名は、(君影草) と呼ばれています。また、2021 年・新道峠に新設されたＦＵＪＩＹＡＭＡツインテラスを訪れます。晴れていれば、正面には霊峰富士が迫ってきます。眼下には、河口湖、左手奥には山中湖の湖面が、光って反射しています。景色が素晴らしい一言に尽きます。
コースにおいては、歩行距離は約８ｋｍと通常より短いですが、アップダウンがあります。休憩時間と水分補給を十分にとっていきます。

スズランの花

ツインテラスからの眺望

・コース:すずらん群生地駐車場(トイレ)→ＦＵＪＩＹＡＭＡツインテラス(昼食・トイレ)
　　→スズラン群生地・散策(トイレ)
・距　離：約８ｋｍ
・集　合：おごっそう家（芦川農産物直売所）駐車できます。10：50
笛吹市芦川町上芦川６７９－１　〒409-3701　TEL 055-298-2820
※おごっそう家 11：00→スズラン群生地駐車場 11：20
（各自、分乗してスタート地点のスズラン群生地駐車場に移ります。スタップ・小林さんの指示に従って下さい）
※市営バスが運行されています。(石和温泉駅→上芦川・停、おごっそう家)
石和温泉駅(南口)駅前ロータリー・10：05→上芦川(停)10：55（一人/870 円・片道）
（上芦川停は、おごっそう家迄はすぐ近くです。スタップ・田中、同乗します。）・
わからない点等ありましたら、スタップに問い合わせて下さい。
市営バス、上芦川 17：06→石和温泉駅 17：56
・解　散：おごっそう家　15：30 頃
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／小林光修(090-4676-2067)
　　伊藤 清(090-5331-3173)

・タイトルの前に※印があるのは当会主催ではありません。
他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。
八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888 FAX 0551-32-6877